

# 第1回 六葉会三役と学校三役との協議会 議事録

2011年7月15日(金)

参加者 学校 : 河合輝一郎校長先生、澤章敏教頭先生、石川智教頭先生、板井良太事務長  
参加者 六葉会 : 永野肇会長、島根正隆副会長、高橋浩司副会長、野澤一良幹事長、萩原孝副幹事長  
司会 : 高橋浩司  
書記 : 萩原孝

1、**会長挨拶** 永野会長 本日は学期末の忙しい中、ありがとうございます。是非こういう時間を持ちたいと考えておりました。合同同窓会や学校理事の方々との話の中で「六浦にはもう少し頑張っただけ欲しい」などと言われていたりしていますが、六浦中高がそして六葉会も元気であってほしいと願い、双方の協力の下、できることからやっていきたいと考えています。

2、**学校長挨拶** 河合校長先生 昨年の就任以来、外から来た目で良いところは今以上に良くし、改善の余地もたくさん見られるので論議(「止揚」)をしていこうと思います。  
英語コミュニケーションプロジェクトのモデル校となり組織化と具体的展開、目的、主旨を立ち上げました。ネイティブの専任を2人。卒業までにTOEIC2級。カナダ留学。来年からはアメリカ西・東の留学と今年度からオーストラリアのターム留学も開始出来るように考えています。

※参加者自己紹介 相互理解を深めるため、プロフィール等自己紹介を行った。

3、**趣旨説明** 会長挨拶の中で話した通りと確認。

## 4、六葉会として学校に感謝していること

野澤幹事長 1) 六浦祭・HCD 会議室や礼拝堂など施設使用について  
2) 常任幹事会 学校三役にご臨席いただいていること  
会議室・ラウンジの使用について  
3) 住所録管理 会員の住所録の管理をしていただいていること  
4) 事務的サポート レジューメや議事録等の印刷など  
名実ともに学校を活動の場とさせていただいていることに感謝していることを伝える。

## 5、学校が六葉会に望むこと

河合校長先生 昨年の六浦祭・HCDで一番感動したのは、退職後の先生方がたくさん来校されたことです。また校内に貼られたたくさんの写真を現役の生徒たちが興味を持って見ていたことも驚きました。卒業生たちが支えてくれる姿勢がとてもありがたいものと思いました。これからもこういう関係が続くことを願っています。

石川教頭先生 これからの生徒たちにとっても、卒業生は大切です。保護者は生徒がいて利害関係もあるが、卒業生は学校のことよく知っていて直接の利害関係もなく率直な意見をいただくととても大事な存在です。

澤教頭先生 卒業生全員が集まる場がないので是非そういう場を作ってほしい。クラブのOB会が現役を支援いただき、生徒、保護者、OBの連携を期待したいと思います。

## 6、これから両者が一致協力していく上で双方ともに確認しておきたいこと

野澤幹事長 125周年募金事業総括として六葉会では、募金者総数と合計金額を常任幹事会に報告し、謝意を表しました。学校としてはこの件について今後どのようにされるお考えですか。

河合校長先生 今後何らかの形で正式にお礼を申し上げます。

高橋副会長 六浦の生徒数に関し、法人役員の方々から厳しい話を聞くことが多く、とても残念で、悔しいです。母校のために手伝いたいと思っておりますが、どのようなことができるでしょうか。

野澤幹事長 加えて、来年の生徒募集のことなど差し迫ったことがあります。たとえば5年後、10年後の展望・目標などが示されないことにはお手伝いのしようがないのでその辺りもお聞かせください。

河合校長先生 学校の状況が正しく知られていないと言えます。学校のブログは、県下でアクセス数が、ナンバー1であるなど、見逃されているいい点もあり、来年度は、違う結果ができるように今、努力しています。中・長期計画に関しては今後示せるとしています。

板井事務長 卒業生の力を借りてますます良くなれるように努力していきたいのでよろしくをお願いします。

永野会長 数ということは確かに重いものですが、ただ数を合わせるだけでいいのか。そういうことでは続けては行けないのも事実です。

石川教頭先生 一部の生徒の実績ではなく全員で伸ばしたい、全員を育てていきたいと思っております。六浦には見ていただければわかってもらえる良さもたくさんあるので、とにかく一度見に来てほしい、そういうことを伝える方法を考えてほしいと思っております。

野澤幹事長 河合校長先生の基本姿勢と発言の意図について今後のために確認しておきたいと思っております。昨年の六浦祭に向けての対応の件、今年5月のチャリティコンサートの準備でお願いした件、125周年の募金についてご説明下さい

河合校長先生 (時間も少ないので) この場での説明は控えたいと思っております。

野澤幹事長 院内入試に関して高校でいうことと、大学で言っていることに食い違いがあるようですが。

石川教頭先生 意見や話がいろいろなところで様々のようです。最近は大入試課ともよく話をするようにしています。